

## 教育委員会定例会議事録

令和5年9月26日 午後2時00分 開会

## 出席委員

教 育 長	高 本 訓 久
委 員	山 田 清 志
委 員	菅 沼 由 貴 子
委 員	戸 苺 恵 理 子
委 員	佐 原 圭 子

## 説明のための出席者

教育部長	前 田 清 彦
教育部次長	酒 井 保 吏
教育部次長兼学校教育課長	鈴 木 康 孔
教育部次長兼中央図書館長	尾 崎 浩 司
庶務課課長	杉 浦 忠 彦
庶務課主幹	石 黒 友 作
学校教育課主幹	中 村 立 志
生涯学習課長	石 黒 泰 基
スポーツ課長	小 原 寛 明
学校給食課長	林 俊 光

## 教育長が指定した事務局職員

主 事	近 藤 邦 宏
主 事	森 下 徹

## 議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 その他報告 令和5年9月定例会市議会における教育問題について

「高本教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、会議を開催します。始めに、日程第1、「議事録署名委員の指名」を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、菅沼・佐原 両委員を指名いたします。よろしくお願ひします。

「高本教育長」 続いて、日程第2、その他報告「令和5年9月定例会市議会における教育問題について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「前田教育部長」 その他報告「令和5年9月定例会市議会における教育問題について」を資料に基づき説明。

「高本教育長」 この件について、ご質疑がありましたらお願いします。

「山田委員」 倉橋議員との答弁の中で、学校事故の話題がありました。令和4年度に起こった事故の特徴として、児童・生徒の不注意による怪我が多かったとのこと。子どもたちの気の緩みもあったのかもしれませんが、体育の授業中や、体育大会の最中、部活動の最中に起こったようです。特に授業中に起こった事故というのは、教員の管理下の中で事故が起きてしまった。もしかしたら、重大な事故につながっていたかもしれないし、教員がもう少し気を使っていれば防げたかもしれない。交通事故の場合は、校長会で周知されていたと思いますが、このような事故についても学校間で共有されているのでしょうか。

「鈴木教育部次長」 中学校では体育専門の教員が体育の授業をしますが、小学校では担任の先生による授業が主となります。そういったことから、特に跳び箱や器械運動など危険を伴うような種目については、その学校にいる体育教員が中心となって教員同士の講習会を開催するなど対応をしています。ただし、昨日も骨折を伴う事故が発生してしまいました。跳び箱の授業で、勢いよく5段を飛ばうとした際、勢い余って手が跳び箱を飛び越えて抜けてしまい、着地するはずのマットまで手が行ってしまったようです。教員同士の講習会を開催し、授業の中で注意事項を説明しているのですが、なかなかゼロ件には至らないという状況です。

「山田委員」 同じく倉橋議員との答弁の中で、スポーツ課に関連して、グラウンドの釘の話題がありました。西尾市の公園で釘が見つかったと報道がありましたが、その報道があつてすぐに豊川市やどこかが反応して結果を公表しました。金属感知器も持っているのかととても驚いたとともに、その迅速な対応にととても感心しました。

「酒井教育部次長」 どちらかという報道されたスタンスは、豊川市でも釘が出たしまったというものでした。そういった見方をしていただけたことは本当にありがたいことです。

「戸苺委員」 同じく倉橋議員との答弁に関連したものですが、熱中症対策の話題の中で、WBGT測定器により測定する「暑さ指数」の説明がありました。その際、暑さ指数が31「度」という表現が使われたようですが、これを見たときに違和感を覚えたところです。調べてみたところ、表現としては間違いではないものの、気温と間違えやすいので、一般的には暑さ指数31などと、「度」という表現は省いていないかと思います。保護者に周知する場合などは、混乱が起きないように対策をお願いできればと思います。

「山田委員」 給食の無償化に関連した質問がありました。豊川市のスタンスについて確認したいのですが、無償化にしたいがお金がなくてできないのか、若しくは、食材費のみを保護者に負担してもらって調理等に係る費用については、市が負担していることをそのまま継続していくべき、ある程度の負担はしてもらふべきという考えなのかということ伺います。個人的には、給食費は安いに越したことはないものの、

国からの配給のように無償でもらうというようなものではないと考えています。質問された方々は、地域の保護者の方々のためには無償化が望ましいという考えなのかもしれませんが、保護者の方々には実際どのように考えているのか知りたいところです。例えば、もっとお金を払ってもいいから、地産地消を充実させて欲しいであったり、何か給食に対する要望が言いづらくなってしまうのではないかとと思います。

**「酒井教育部次長」** 市議会では、一般質問とは別に9月11日に市民文教委員会というのがありました。その中で、「小中学校の給食費の無償化を求める請願」が議会へ提出されたところです。この取り扱いについて、議員同士の議論もありましたが、特に大きな議論としては、給食費の無償化をした場合、年間8億円以上のお金が必要となってくるという点でした。これは一過性のものではなく、これから毎年必要となってくるお金となります。毎年8億円あれば、かなり大きな事業を実施することができるので、これを踏まえた上でも無償化すべきなのかという議論でした。また、学校給食法において、食材費については保護者負担、それ以外の調理にかかる光熱水費や人件費などは公費負担とされています。そのような背景を踏まえ、今回の請願については不採択となっています。

**「菅沼委員」** 国でも無償化に関する調査研究が行われているようです。無償化にするのであれば、いっそのこと、国が全額負担するというようになればと思うのですが、難しいのでしょうか。

**「酒井教育部次長」** 市町によって給食費単価が違う点がネックになるのかもしれませんが。給食費単価が高いところもありますので、自治体ごとの単価の差異をどうするのかという議論はなかなか簡単にはいかないのかと思います。

**「戸荻委員」** 以前にも言いましたが、お父さんお母さんがお金を払ってくれたうえで「いただきます」と言いながら地元の食材が使われた給食を食べることの意味を教えていかなければいけないと思いますし、そちらのほうが大事だと思います。無料だからありがたい、「いただきます」ということではなく、自分たちでお金を払ったうえで、おいしい給食を作ってくださいる人たち、材料を作ってくださいる人たち、学校に運んでくれる人たち、そのような方々がいらっしゃるのだということを知りながら、「いただきます」と言って食べるということが大切なのだと思います。無償化してしまうと、もしかしたらそういった意識が薄れてしまうのではないかとと思いますし、残食も増えてしまうかもしれません。

**「高本教育長」** ほかにご意見、ご質問がなければその他報告「令和5年9月定例市議会における教育問題について」は以上とさせていただきます。

**「高本教育長」** 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会では閉会といたします。

(午後2時46分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員